

●実験・研究テーマ:

●タイトル(後で決める)

●著者

筆頭著者:

共著者(役割):

研究統括

統計解析

作成指導

●研究主体

●指導者

●文献整理ソフト

●データ共有の仕組み

Slack

Google drive

Dropbox

●資金

実験・研究に使う必要は()万円である。内訳は...

~費

~費

~費

英文校正費

出版費用

●実験・研究の問いを記載してください

●実験・研究の最終結果であなたが言いたいことは何ですか？

●FINER check

F(Feasible)実験・研究は技術的その他の視点から実行可能であるか？

I(Interesting)実験・研究結果はアマチュア無線(家)にとって有益であるか？

R(Relevant)実験・研究結果を知ることで切実な問題を解決できるか？

M (Measurable)実験・研究結果は科学的に測定可能か？

M(Modifiable)実験・研究の要素は修正・介入が可能か？

N(Novel) 実験の結果が新しい知見を提供するか？

E(Ethical)実験・研究は倫理的か？法令に違反しないか？

S(Structured)実験・研究は構造化されているか？

S(Specific)実験・研究は具体的・明確な表現を用いているか？

※事前リサーチ

▶ 使用した検索エンジン、データベース

▶ 検索したキーワード

▶ Google scholarで実行した検索式

▶ 事前リサーチのまとめ

著者・発行年	雑誌名	タイトル	実験・研究手法	結果の概要

▶自分の論文を展開していくときに使いそうな内容をメモしておく

▶論文を読んでいくときに、すぐにまとめておいたほうがよい項目は何か？  
(例)周波数、モード、アンテナ、電源、場所など。

●(実験・研究スタイルが観察研究であれば)理想の実験デザインを組むとしたらどうなるか？  
具体的に記載することを心掛ける。どのようなデータを採取する必要があるかが見えることがあります。

▶対象(装置/環境その他)

▶実験条件(介入)

▶比較対象

▶結果

・最も知りたい結果

・副次的結果

※上記で細かい定義が必要な場合はこちら書いてみる

●目的

この研究の目的は、

●背景

▶過去の論文を読んでいくときに

▶なぜ重要なのか

▶テーマに関してわかっていること

▶テーマに関してわかっていないこと(エビデンスが不足していること)

▶主要文献のサマリー

発行	名	デザイン	対象	トカム	な結果	限界
sbach,	atri	ysis of 19-center bpective cohort	children (<2 yrs) italized with chiolitis	of anical ation	factors of mech ation are ***,	**,

Knowledge gap(s):

方法

●PECOの設定

②

対象:

要因:

比較:

結果:

研究デザイン:

研究のセッティング:

研究対象:

主要な変数と定義:

※交絡因子として重要なもの

・Primary outcomeは()である

それについて関連するもの

・設備に関する要因

・環境に関する要因

・オペレーターの状態に関する要因

・その他に関する要因

変数一覧

	目的1	目的2
--	-----	-----

主要暴露因子		
アウトカム		
交絡因子		
Effect modifiers (あれば)		
Mediators (あれば)		

### 統計解析

▶対象の比較

▶主要な解析:

▶欠測値への対応  
多重代入法

▶感度分析

サンプルサイズの見積もり(計算ができる場合)

### 研究限界

: (e.g., 選択バイアス, 測定バイアス, 交絡因子, 一般化)

●タイムライン:

自分がこの論文に費やすことができる時間は1週間で約( )時間程度である。

目標	締め切り(月/年)
● この研究プランの書き上げ	10/2024
● 研究のkick off	11/2024
● 論文のうちbackground、method、limitationを作成する。また、result、discussion、結論の案を作成する。	12/2024
● データ収集完了	6/2024から 5/2025
● 統計解析の完了	7/2025
● 論文初稿の仕上げ	9/2025
● 雑誌への投稿	6/2026

本研究をもとにした将来の研究アイデア(簡潔に):

主要参考文献